

令和6年度 箱崎小学校教育目標と経営の基本方針

1 教育の柱

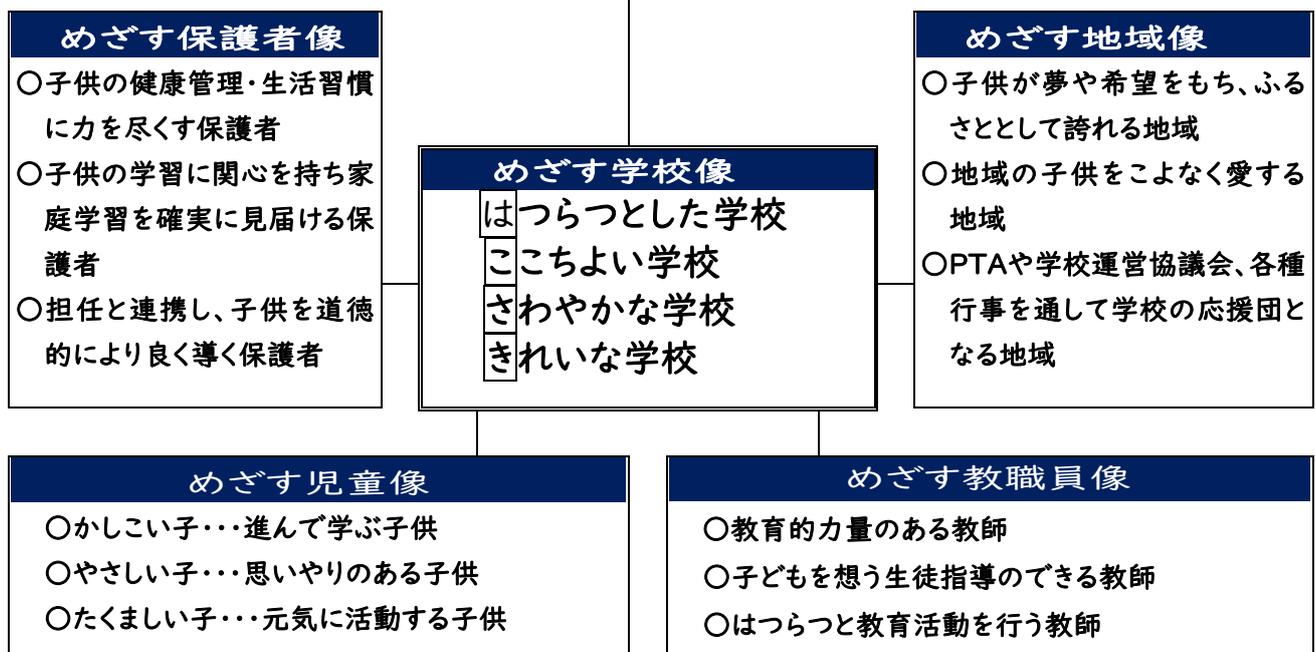
箱崎小学校が149年間にわたり積み重ねてきた伝統、文化、校風を継承しつつ、今を生き、未知の時代を生きる子供たちのためにどのように教え導き育てていくかを全職員で考え、今までの経験と実績・人材等を生かし内容の新しい教育を進めていく。

地域の人々の願いとしてできれば地域に残り、地域の発展に寄与できる人材となることを望んでいる。

学校で学びを積み重ねた児童が、将来必要な資質を備えた社会の形成者となるよう、地域に根ざした教育を進めていくことで「知・徳・体」の調和のとれた児童の育成に努める。

2 学校教育目標

確かな学力、豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力を有し
自分らしく輝く子どもの育成



3 基本方針

「確かな学力」の定着をめざし、誰一人取り残すことのない学習指導の充実と校内研究の活性化を図る。

「豊かな人間性」の育成をめざし、「思いやりの心」や「個の良さ」を生かす教育活動の充実を図る。

「たくましく生きるための健康や体力」をめざし、親子で取り組む日常的・意識的な体づくりの充実を図る。

学校(子ども・教師) 家庭(保護者・家族) 地域(支援者)の幸福感の高まり

4 教育目標の具現化を目指すための具体的実践事項

【知】かしこい子・・・進んで学ぶ子ども

- ① 学習規律や学習習慣の確立
 - ・ 子どもが「主体的に」学習していく「問題解決的な学習スタイル」の構築
 - ・ 「箱崎小 学びのスタンダード」、「箱崎小 発表の仕方」、「学び方を身につけよう」の定着
 - ・ 「子どもの学びの習慣化」をもとに、学校と家庭の共通理解と実践
- ② 個に応じた学習指導
 - ・ 個々の実態に応じた最適な学習形態や方法、手立ての検討(個別最適な学習指導)
 - ・ ICT 機器を効果的に取り入れた授業の工夫
- ③ 自分の思いや考えの積極的な表現
 - ・ 授業での「書く活動」「表現(発表)の場」の設定(協働的な学び)
 - ・ 行事や委員会活動などで表現する機会の創出(学びの成果を生かす)

【徳】やさしい子・・・思いやりのある子ども

- ① 異学年交流を通して思いやりのある態度や気持ちの育成
 - ・ 行事やファミリー班活動
- ② 「箱崎 根っこづくり運動」の実践と定着(みんなが笑顔になるための5つの「あ」)
 - ・ 自分から、誰にでも元気のよい「あいさつ・へんじ」
 - ・ 「あんぜん」を意識した行動
- ③ 道徳教育、人権教育の充実
 - ・ 全ての教育活動を通じての道徳教育、人権教育の推進
- ④ 特別支援教育の充実
 - ・ 特別支援学級児童の理解(職員)
 - ・ 全ての児童について特別支援教育の視点での支援、教育
- ⑤ 情操豊かな子どもを育む教育環境づくり
 - ・ 教師も、相手の人格を尊重した言葉で、相手を思いやる行動を

【体】たくましい子・・・元気に活動する子ども

- ① 日常生活の中での体力作り
 - ・ 「遊び」を通じた体力・運動能力の向上
 - ・ 決めた距離を歩いて登校(集団登校への参加)
 - ・ 放課後の決まった時間を利用しての体力づくり教室(任意参加)
- ② むし歯等疾病の早期治療勧奨
 - ・ 養護教諭と担任の連携した推奨
- ③ 学校保健委員会(PTA)と連携協力した健康・体力への意識の向上
 - ・ 「体ほぐし」「体づくり」などのいつでも誰でもできる運動を知り、家庭でも親子で実践
- ⑥ 安全教育の充実
 - ・ 現実的で効果的な避難訓練の計画、実施
 - ・ 自己判断力の育成⇒交通事故防止、不審者対応の力の育成
 - ・ 安全に配慮した遊び